

## 江別市の防災について

江別市では、災害発生または災害が差し迫った時は、「江別市災害対策本部」を立ち上げ、応急復旧や被災者支援にあたります。

また、災害の種類によっては災害発生前（例えば大型台風が近づく時等）に「配備体制」を設定し、指定された職員が対応するような体制をとっています。

主な公共施設等の避難所指定はもとより、毛布や水、食料品の備蓄を計画的に進めて行きます。

### 1 洪水への取り組み

最近では、昭和50年、56年に、江別市の低地帯を中心に水害に見舞われています。

- ① 石狩川を始め、国管理の一級河川を中心に、堤防強化など治水対策を推進
- ② 国のHP「川の防災情報」により、毎日、河川の水位が確認できるようになる
- ③ 江別市では、ソフト面を中心に、防災訓練や水防訓練の実施。また国からの情報により浸水想定区域を掲載した防災あんしんマップを平成13年度に作成配付

### 2 地震への取り組み

江別市では、過去地震で大きな被害に見舞われていませんが、いつ起こるかわからない地震に対応していきます。

- ① 防災訓練やDIG図上訓練の開催
- ② 昨年より、避難所運営訓練にとりくみ、主として自治会単位に参加して、避難時の役割などを経験する
- ③ 市内小中学校を中心に、公共施設（特に避難施設）の耐震化促進を図る

### 3 市民の防災意識向上への取り組み

- ① 広報等による情報発信（市HP・防災あんしんマップ・市広報）
- ② 出前講座により、担当職員が地域に出向き、防災や減災の話に取り組んでいる
- ③ 民生委員や自治会と協力し、災害時要援護者避難支援制度の推進

**特記事項** これだけは覚えていてほしいこと（防災あんしんマップにも記載）

- ① とっさの時は、まず落ち着いて欲しい。その後、行動（海岸付近にいるときは、すぐ高台へ逃げる事）。
- ② 家に居るとき、職場にいるとき、町のなかにいるときなどに避難パターン毎に、どう行動するか想像して欲しい。
- ③ 家族で防災会議を開く（家に居るか、学校や職場にいるかで行動が異なる）。  
また、学校や職場にいるときは、みんながどこ（避難所等）に集まるかを決めておく。

## Q1 マップ（防災あんしんマップ）に食料や毛布の備蓄状況を記載

### A1 【現在の取り組み状況】

皆様に防災情報を周知するあんしんマップは、浸水想定区域や避難所などを掲載しています。平成23年度に、江別・野幌・大麻の地区毎にリニューアル（再作成）し、各世帯に配布しています。

以前よりあんしんマップについてのご意見を頂いていますが、情報をたくさん掲載したほうがよいという意見と、もっと見やすく・内容をわかりやすくした方がいいという意見があり、必要最低限の情報を掲載しています。

### 【課題と方向性】

ご提案の備蓄品の数量についてであります。掲載するスペースや、毎年備蓄数量が変化するなどの理由により、今回見合わせたものです。

江別市として計画的に備蓄を行いますが、あんしんマップにも記載のとおり、各世帯で3日分ほど備蓄して下さい。

## Q2 水害発生時の現実的な避難場所を記載（公園避難は非現実的）

### A2 【現在の取り組み状況】

あんしんマップには、一時避難所と収容避難所の2種類の避難所を掲載しています。

一時避難所は、地震発災後などに倒壊しそうな危険建物等から身を守るために、ある程度の広さがある公園や学校のグラウンド等を指定しています。

収容避難所は、数日間宿泊を伴う避難時等に使用するため、屋内施設である市民体育館や公民館、小中学校などを指定しています。

### 【課題と方向性】

避難所の掲載については、地震と水害の両方を想定し、浸水想定区域については、『洪水時の指定避難先一覧』を掲載しているので、そちらも併せて確認して下さい。また、冬期間は、主として収容避難所を中心に避難することで想定しています。

### Q3 備蓄資材の充実

#### A3 【現在の取り組み状況】

江別市は、備蓄資材として主に毛布や非常食を中心に備蓄しています。

現在、毛布は 3,100 枚、非常食は 2,700 食、他に収容避難所において避難者の各区分を仕切る段ボールセットを 100 セット備蓄している。

#### 【課題と方向性】

備蓄品については主に文書保存センターに保管しているが、現在これらの数量・品目等についていろいろ検討しているところであります。

### Q4 地区の人口にあわせた避難所の設定が必要

#### A4 【現在の取り組み状況】

市内には、一時避難所 90 と収容避難所 76 箇所があります、各施設の設置状況や、面積の大小、避難所として使用できるスペースの大小の関係により、地区人口に合わせて設定することが難しい状況です。

#### 【課題と方向性】

多く集まった避難所については、一定の人数を他の避難所に移動して頂くなど、現在、検討していきます。

### Q5 防災情報の周知

#### A5 【現在の取り組み状況】

江別市は「自助・共助・公助」を中心に、市主催の防災訓練への参加などにより、防災意識を高めていただきたいと考えています。また訓練以外でも地域や自治会へ「出前講座」として各課職員が出向いて防災意識の周知に取り組んでいます。

#### 【課題と方向性】

出前講座や各種防災訓練の実施について、各種会議や市 HP、広報などを活用して周知して行きたい。